

# AMANO REPORT

第100期  
事業報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日



## Contents

株主の皆様へ	1
トップインタビュー	2
新中期経営計画	3
事業概況	4
連結財務諸表 (要旨)	5
トピックス	7
ネットワーク	9
会社概要	10
株式の状況・株主メモ	

TIME & ECOLOGY  
**AMANO**

証券コード 6436

# 株主の皆様へ To Our Shareholders

株主の皆様には、平素より格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
 当社は、創業以来「人と時間」「人と環境」を企業テーマに掲げ、全事業活動の座標軸を顧客満足におき、全ての社員がお客様の声を聞く「顧客第一主義」を基本方針としております。また、株主の皆様にとって魅力ある企業であるために企業価値（現在価値+将来価値）の最大化を図ることを経営の重点戦略としてまいりました。

平成26年4月よりスタートした新中期経営計画において、100年企業を目指した「新たなステージへの挑戦」を経営コンセプトに掲げ、市場・プロダクトのグローバル展開、総合提案ビジネスの拡大に取り組むとともに、徹底的な顧客ニーズの掘り起こしに注力し、原価低減、販管費抑制にも努めた結果、当期の連結業績は、売上高・利益ともに増収増益となりました。

期末配当金につきましては、配当の基本方針に基づき、株主の皆様のご支援にお応えするため、期初予定の1株当たり20円から8円増配し、1株当たり28円とさせていただきます。これにより、既に実施いたしました中間配当金1株当たり20円とあわせ、当期の年間配当金は1株当たり48円となります。

新年度の経営環境につきましては、わが国経済は、中国を始めとする新興国経済の減速傾向や為替相場の不安定な動きが続く中、設備投資や個人消費が弱含みで推移し、先行きは不透明感が強まるものと考えられます。

このような経営環境の中で、当社およびグループ各社は、新中期経営計画に基づき全社一丸となって業績目標の達成に向けて、経営計画を着実に実行するとともに、更なる経営基盤の強化・拡大を図る所存でございます。

株主の皆様におかれましては、何とぞ倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 中島 泉

平成28年6月

## 財務ハイライト (連結)

■ 中間期 (第2四半期) ■ 通期



第100期事業報告書をお届けするにあたり、代表取締役社長 中島泉へのインタビューを通して当社の現状と今後の取り組みをご説明いたします。

**Q1** 当期の経営成績と主な成果についてお聞かせください。

**A1** 当期におけるわが国経済は、円安の恩恵もあって企業収益や雇用環境が着実に改善し、設備投資も堅調に推移するなど、景気は底堅い状況にあるものと考えられます。

このような状況下、平成28年3月期連結売上高は、過去最高の1,195億6百万円（前期比8.8%増）となりました。事業部門別では、情報システムは、国内は企業の業績回復に伴う情報システム投資の増加傾向を背景にターミナル、ソフトウェアの受注拡大により増収、海外は北米が堅調に推移し増収、全体では前期比8.3%の増収となりました。パークینگシステムは、国内は大型物件および輸出の減少があったものの、駐車場運営受託事業が順調に拡大し増収、海外は北米・欧州はシステム機器の受注拡大、アジアは運営受託事業の拡大によりそれぞれ増収、全体では前期比7.7%の増収となりました。環境システムは、国内は汎用機・大型システムともに受注が拡大し増収、海外は中国経済の減速の影響により減収、全体では前期比5.8%の増収となりました。グリーンシステムは、国内は清掃機器の販売が増加したものの減収、海外は北米の木材床研磨機器事業が引き続き寄与し増収、全体では前期比25.6%の増収となりました。

利益につきましては、原価低減活動の強化により連結・単独ともに原価率が改善したことに加え、北米及び国内グループ会社の寄与により増益となり、営業利益は129億42百万円（前期比38.3%増）、経常利益は136億65百万円（前期比34.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は84億5百万円（前期比23.7%増）と増益、過去最高となりました。

**Q2** 平成29年3月期の通期計画についてお聞かせください。

**A2** わが国経済の先行き不透明感が強まっていることも踏まえて、既に公表している新中期経営計画の最終年度の計画値を一部見直し、売上高1,220億円、営業利益130億円、経常利益135億円、親会社株主に帰属する当期純利益88億円といたしました。

国内では、アマノ単独においては情報システム、環境システムを中心に業績の堅調な推移が見込まれることに加え、国内グループ会社では前期並みの実績を想定しております。

一方、海外では、現地通貨ベースでは増収増益が期待できるものの、為替の円高傾向も影響し、円貨ベースでは減収減益を見込んでいることから、連結ベースの計画値は保守的な数値目標としております。

国内では、情報システムは、中小市場での新ソフトウェア投入を行い、ハード・ソフト・サービス・クラウドまでの「ワンストップサービス」による顧客基盤拡大を図ってまいります。中堅市場では、就業システムと人事給与・会計ソフトのセット販売に注力し「ミニERPベンダー」を目指した業容拡大に取り組んでまいります。

パークینگシステムは、大手駐車場管理会社との連携を一層強化するとともに、中小駐車場管理会社には駐車場データセンターを介した各種サービスなどを提供し、「パークイングファシリティ サービスプロバイダー」を目指してまいります。また、セキュリティゲートや有料道路・駐車場等に対する取り組みも強化拡充し、事業の拡大を図ってまいります。

環境システムは、汎用機を中心とした需要の取り込みを強化するとともに、安定的な成長が見込まれる製薬・食品・化粧品市場での拡販を図ってまいります。また、産業機器メーカーとの提携などによるエンジンリング力の強化と周辺装置を含めたトータル販売に取り組み、「グロー



バルエンジニアリング マルチベンダー」を目指してまいります。

海外では、北米ではアマノマクギャン社の新システムのソリューション提案強化、アキユタイムシステムズ社の更なるクラウドビジネスの拡販を図ってまいります。欧州ではフランスのホロコオルツ社と昨年買収したアルゴグループとの相乗効果の実現を図り、更なる業容拡大を目指してまいります。アジアでは韓国、香港を中心とした駐車場運営受託事業の拡大を図るほか、フィリピンでの営業開始など、環境システムの販売・サービス体制の強化を図ってまいります。

## Q3 新中期経営計画の進捗状況について お聞かせください。

A3 新中期経営計画は、「新たなステージへの挑戦－規模の拡大と成長ドライブの構築－」を経営コンセプトとして掲げてスタートいたしました。

現在、国内外グループ会社との連携により、新市場開拓や新規事業構築に取り組んでおります。新市場開拓については、国内では清掃ロボットの新品の投入により新たな需要の開拓を進めてまいります。北米では引き続き木材床研磨機器市場の業容拡大を図ってまいります。欧州ではフランスのホロコオルツ社がWorkforce Managementシステムのクラウド展開を進めております。また、日系企業の進出が著しいメキシコでは自動車関連企業を中心とした汎用機の拡販を推進するべく、現地法人を設立し営業活動を開始しました。

新規事業構築については、財務会計市場参入は、平成26年4月に専門部隊を設け、株式会社クレオとの連携に取り組んでおります。今後も中堅・大規模企業向け市場での就業・人事・給与・会計のコンサルティング営業の推進強化により、情報システムの業容の拡大を目指してまいります。また、ネットビジネスは取り組みの強化により更なる顧客数の拡大を図ってまいります。今後も新規事業の立ち上げ、新市場開拓やアライアンス戦略を通じて、一層の業容拡大を図ってまいります。

## 基本方針

平成26年4月よりスタートした新中期経営計画は、100年企業を目指した「新たなステージへの挑戦」を経営コンセプトとして掲げ、次の4つの重要課題に取り組んでまいります。

- (1) 企業規模の拡大
- (2) 経営効率の向上
- (3) 連結経営の強化
- (4) コーポレートガバナンスの進化



## 数値計画

本計画の最終年度である平成29年3月期に売上高1,220億円、営業利益130億円の業績達成を目指してまいります。

(単位：百万円)

	2015年3月期 (実績)		2016年3月期 (実績)		2017年3月期 (修正)	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
売上高	109,837	7.5%	119,506	8.8%	122,000	2.1%
営業利益	9,357	6.0%	12,942	38.3%	13,000	0.4%
営業利益率	8.5%	—	10.8%	—	10.7%	—
経常利益	10,189	8.1%	13,665	34.1%	13,500	△1.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,794	28.2%	8,405	23.7%	8,800	4.7%

## 情報システム

売上高

25,512 百万円  
(前期比8.3% ↑)



国内実績は、前期に比べターミナルが10.0%増収、ソフトウェアが4.5%増収となりました。ターミナルの増収は複数の大型案件受注、ソフトウェアは中堅市場向け就業システムの受注拡大によるものです。  
海外の実績は、北米が増収、欧州がグループ会社売却の影響により減収となり、海外全体では7.9%増収となりました。

## 環境システム

売上高

21,830 百万円  
(前期比5.8% ↑)

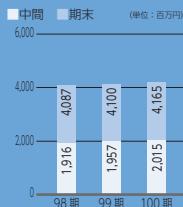


国内実績は、前期に比べ汎用機が15.7%増収、大型システムが4.8%増収、メンテ・サプライが5.3%増収となりました。  
海外の実績は、中国経済減速の影響によりアジア地域で減収、海外全体では7.5%減収となりました。

## 時間管理機器

売上高

4,165 百万円  
(前期比1.6% ↑)



国内実績は、前期に比べ標準機が2.5%減収、サプライ品が10.5%増収となりました。  
海外の実績は、北米が為替の影響もあり増収となり、海外全体では1.2%増収となりました。

## クリーンシステム

売上高

12,213 百万円  
(前期比25.6% ↑)



国内実績は、前期に比べ清掃機器が14.3%増収、メンテ・サプライが11.3%減収、清掃受託サービスが41.3%減収となりました。  
海外の実績は、北米が木材床研磨機器事業が引き続き寄与し増収、海外全体では53.8%増収となりました。

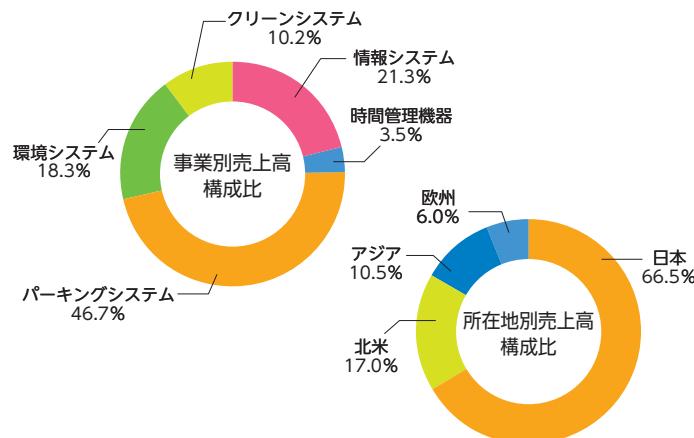
## パーキングシステム

売上高

55,784 百万円  
(前期比7.7% ↑)



国内実績は、前期に比べ駐車場機器が3.7%減収、メンテ・サプライが4.0%増収となりました。なお、グループ会社アmanoマネジメントサービス株式会社による運営受託事業は順調に拡大しており、受託車室数は前期末比10.1%増加いたしました。  
海外の実績は、北米がアmanoマクキャン社の新システム受注拡大により増収、欧州がバーコードシステムの好調により増収となり、海外全体では23.4%増収となりました。



### 連結貸借対照表

(単位：百万円)

#### Point ① 流動資産

受取手形及び売掛金  
17億15百万円増加  
その他（前払費用等）  
6億84百万円増加

#### Point ② 固定資産

ソフトウェア仮勘定  
16億98百万円増加

#### Point ⑥ 売上高

時間情報システム事業及び環境関連システム事業ともに伸長し、売上高は前期比8.8%の増収となりました。

#### Point ⑦ 営業利益

販売費及び一般管理費が増加したものの、増収効果および経費削減活動が寄与し、営業利益は前期比38.3%の増益となりました。

#### Point ⑧ 経常利益

営業増益の影響により、経常利益は前期比34.1%の増益となりました。

#### 資産の部

	第99期 (H27.3.31)	第100期 (H28.3.31)
① 流動資産	81,633	85,875
② 固定資産	49,926	51,090
有形固定資産	24,021	23,589
無形固定資産	12,279	13,276
投資その他の資産	13,625	14,223
資産合計	131,560	136,965

#### 負債の部

	第99期 (H27.3.31)	第100期 (H28.3.31)
③ 流動負債	30,980	34,134
④ 固定負債	8,431	7,225
負債合計	39,411	41,359
純資産の部		
株主資本	92,123	97,233
その他の包括利益累計額	△350	△2,043
非支配株主持分	375	416
⑤ 純資産合計	92,148	95,606
負債純資産合計	131,560	136,965

### 連結損益計算書

(単位：百万円)

	第99期 (H26.4.1~ H27.3.31)	第100期 (H27.4.1~ H28.3.31)
⑥ 売上高	109,837	119,506
売上原価	62,221	66,575
売上総利益	47,616	52,930
販売費及び一般管理費	38,259	39,988
⑦ 営業利益	9,357	12,942
営業外収益	980	917
営業外費用	148	194
⑧ 経常利益	10,189	13,665

	第99期 (H26.4.1~ H27.3.31)	第100期 (H27.4.1~ H28.3.31)
特別利益	393	5
特別損失	274	356
税金等調整前 当期純利益	10,307	13,314
法人税等	3,366	4,796
当期純利益	6,941	8,517
非支配株主に帰属 する当期純利益	146	111
⑨ 親会社株主に帰属 する当期純利益	6,794	8,405

### Point ③ 流動負債

未払法人税等  
10億36百万円増加  
短期借入金  
9億22百万円増加

### Point ④ 固定負債

長期借入金  
14億82百万円減少

### Point ⑤ 純資産

株主資本  
51億9百万円増加  
為替換算調整勘定  
12億50百万円減少

### Point ⑨ 親会社株主に 帰属する 当期純利益

経常増益の影響により、  
親会社株主に帰属する当  
期純利益は前期比23.7  
%の増益となりました。

### Point ⑩ 営業CF

税金等調整前当期純利益  
133億14百万円  
減価償却費  
44億15百万円

### Point ⑪ 投資CF

無形固定資産の取得による支出  
32億70百万円  
有形固定資産の取得による支出  
29億6百万円

### Point ⑫ 財務CF

配当金の支払額  
32億93百万円

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	第99期 (H26.4.1~ H27.3.31)	第100期 (H27.4.1~ H28.3.31)
少数株主損益調整前当期純利益	6,941	8,517
その他の包括利益合計	3,414	△1,723
その他有価証券評価差額金	958	△82
為替換算調整勘定	2,442	△1,267
退職給付に係る調整額	△10	△356
持分法適用会社に対する持分相当額	22	△17
包括利益	10,355	6,793
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	10,162	6,713
少数株主に係る包括利益	192	80

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	第99期 (H26.4.1~ H27.3.31)	第100期 (H27.4.1~ H28.3.31)
⑩ 営業活動によるキャッシュ・フロー	7,518	13,420
⑪ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,519	△6,608
⑫ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,969	△4,308
現金及び現金同等物に係る換算差額	719	△304
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,250	2,199
現金及び現金同等物の期首残高	31,674	30,526
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	102	—
現金及び現金同等物の当期末残高	30,526	32,725

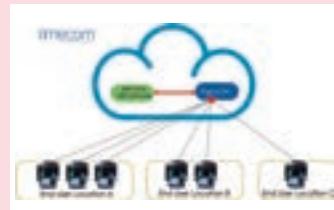
## 1. 情報システム

### 情報ターミナル、中堅市場向けシステム 販売加速! クラウドソリューション、グローバルベースで提案強化

国内では、政府主導による企業の労働時間管理に対する監視強化が拡がる中、情報ターミナルと中堅市場向け就業ソフト「TimePro-VG」の販売が順調に拡大しております。中小市場には今年4月、10年ぶりとなる新就業ソフト「TimePro-NX」を投入し、企業規模、業種、新たな労働ルールやシステム環境に合った最新の人事労務管理提案を強化してまいります。

また、クラウドサービスについては、国内ではアマノビジネスソリューションズ社の就業／人事ASP事業が順調に拡大しております。北米ではアクティタイムシステムズ社が情報ターミナルとERPシステムとのクラウド型データ連携サービスを、欧州ではホロクオルツ社がWorkforce ManagementソフトのSaaS版にも取り組んでおり、各地域の市場ニーズに合わせたグローバルベースでのソリューション展開を進めております。今後も国内、海外ともに、法令順守、生産性向上に役立つハード、ソフト、クラウドの事業拡大に取り組んでまいります。

# Information Systems



## 2. パーキングシステム

### 北米市場「OPUSシリーズ」好調! 2020年オリンピックイヤーに向けて大型案件増加

北米の新システム「OPUSシリーズ」が空港、大学、ショッピングセンター等、順調に受注を獲得しています。オフライン、オンラインの両方に対応し、2次元バーコードの駐車券や、多様な決済が可能な仕様が好評をいただいております。

一方、国内では2020年のオリンピックイヤーに向けて大型開発案件が増加しています。今年1月にはショッピングセンター業界の商談展示会「SCビジネスフェア2016」に出展し、ゲート式駐車場システム、車両誘導システム、新割引システム、車番管理システム等のパーキングソリューションや最新の大型ショッピングセンターでの導入事例が来場者の注目を集めました。

今後も駐車場データセンターサービス「Parking Web」を中核にハード、ソフト、サービス、運営管理のトータル提案を強化してまいります。

# Parking Systems



SCビジネスフェア2016

### 3. 環境システム

#### 汎用機、大型システム 好調継続！ メキシコ現地法人 始動

国内企業の設備投資は底堅く、汎用集塵機、大型システム共に堅調に推移しています。アルミなどの粉塵爆発性のある可燃性粉塵専用の集塵機のリニューアルや、金属製3Dプリンタ専用電気集塵機の投入等、新たな市場ニーズへの対応に取り組み、今後の受注拡大を図ってまいります。

海外では、今年1月に自動車関連企業を中心に日系企業の進出が続くメキシコにて新会社AMANO TIME & ECOLOGY DE MEXICO S.A. DE C.V. (AMX社) を設立、営業活動を開始しました。AMX社は日系進出企業ネットワークの中心地であるグアナファト州レオン市に拠点を構え、今後はエンジニアリング力、販売・サービス体制を強化し、現地調達・組立の拡大によるコスト競争力の向上、サプライチェーンの構築を図ってまいります。

## Environmental Systems



グアナファト州



AMANO TIME & ECOLOGY DE MEXICO S.A. DE C.V.



現地日系企業での工事風景

## Cleaning Systems

### 4. クリーンシステム

#### 北米市場 木材床研磨機器事業 業績牽引！ 清掃ロボットシリーズ 販売強化

北米では好調な住宅・建設市場を背景に木材床研磨機器事業の業績が順調に拡大を続けています。また、木材床研磨用途以外の清掃機器やケミカルとの相乗効果もあり、クリーンシステム事業全体の業績を牽引しております。

国内では清掃業界の作業員の高齢化や人手不足の問題を背景に、安心・安全で清掃効率の高いロボット掃除機・洗浄機の販売強化に取り組んでいます。今後はロボット清掃機シリーズのラインナップを拡充し、市場のニーズを反映した主力商品として育ててまいります。



木材床研磨機器 (Sanding Machine)



ロボット掃除機  
RcDC



ロボット洗浄機  
SE-500iX

## CSR

### 社会貢献活動

#### 「こどもエコクラブ」パートナー会員加入！

「こどもエコクラブ」は、公益財団法人日本環境協会が、自治体・企業・団体などから支援や協力を経て、全国の事務局から環境活動のプログラムや場の提供をしています。

「時間」と「環境」を事業テーマとするアマノでは、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることを目的としたこの活動に賛同し、CSRの一環として支援してまいります。



こどもエコクラブHP画面  
<http://www.j-ecoclub.jp/>

# Global Network



## ● TOPICS ● Argoss Group買収！ 仏におけるアクセスコントロール事業拡大

欧州子会社のHoroquartz社は、2015年10月にパリおよびその近郊地域を中心にアクセスコントロール事業を行うArgoss Groupを買収しました。従来からの事業基盤にArgoss Groupが持つ顧客基盤、サービス、専門的なノウハウを加え、Workforce Management（就業管理）システム事業に次ぐ、第2の中核事業として位置づけ、市場拡大を図ってまいります。



Horoquartz社：Access Control

# Domestic Network

## 支店・営業所

東北・北海道営業本部 札幌/盛岡/秋田/仙台/山形/郡山  
 関東営業本部 大宮/宇都宮/高崎/水戸/埼玉  
 東京営業本部 東京/品川/新宿/西東京/錦糸町/千葉/柏  
 信越営業部 長野/新潟/長岡/諏訪  
 神奈川・静岡営業本部 神奈川/横浜/厚木/藤沢/沼津/静岡/浜松  
 中部営業本部 名古屋/豊田/豊橋/四日市/岐阜  
 北陸営業部 金沢/富山  
 近畿営業本部 大阪/京都/神戸/東大阪/堺/姫路  
 中国・四国営業本部 広島/岡山/松江/山口/高松/松山/高知  
 九州営業本部 福岡/北九州/長崎/熊本/鹿児島/沖縄

## 国内グループ会社

アマノマネジメントサービス株式会社  
 アマノメンテナンス エンジニアリング株式会社  
 アマノビジネスソリューションズ株式会社  
 株式会社環境衛生研究所  
 アマノ武蔵電機株式会社  
 株式会社アマノエージェンシー

## 生産拠点

相模原事業所  
 細江事業所

社名 アマノ株式会社 AMANO Corporation  
 本社所在地 〒222-8558  
 神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地  
 TEL 045-401-1441 (代表)  
 FAX 045-439-1120  
 ホームページ <http://www.amano.co.jp/>  
 創業 1931年(昭和6年)11月3日  
 設立 1945年(昭和20年)11月22日  
 資本金 182億3,958万円(平成28年3月31日現在)  
 従業員数 連結4,498名 単独2,053名(平成28年3月31日現在)  
 営業品目 企画・設計・製造・販売・施工・メンテナンス

役員	代表取締役 会長	春田	薫
平成28年6月29日現在	代表取締役 社長	中島	泉
	取締役 兼 常務執行役員	白石	弘
	取締役 兼 常務執行役員	寺崎	功
	取締役 兼 執行役員	小堀	健
	取締役 兼 執行役員	赤木	毅
	取締役 兼 執行役員	笹井	康
	取締役 (社外取締役)	岸川	邦
	取締役 (社外取締役)	川島	清
	常勤 監査役	山口	嘉
	常勤 監査役	上野	彦
	監査役 (社外監査役)	佐藤	佳
	監査役 (社外監査役)	糸長	丈
	執行役員	米澤	秀
	執行役員	新保	実
	執行役員	森田	龍
	執行役員	田近	正
	執行役員	中藤	明
	執行役員	津黒	哲
	執行役員	田博	之
	執行役員	十朱	頻
	執行役員	澤田	宏
	執行役員	大高	男
	執行役員	笠井	隆
	執行役員	山崎	学

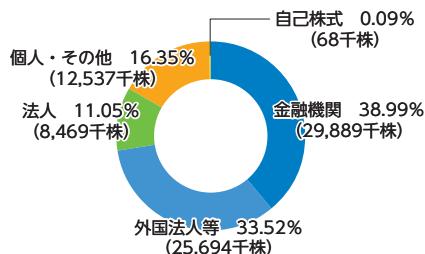
※取締役 岸 勲、川島 清嘉の両氏は社外取締役です。

※監査役 佐藤 佳志、糸長 丈秀の両氏は社外監査役です。

## 株式情報 (平成28年3月31日現在)

発行可能株式総数	185,476,000株
発行済株式の総数	76,657,829株
株主数	12,338名

## ■所有者別株式分布状況



## 株主メモ Memo

決算期 毎年3月31日  
 定時株主総会 毎年6月  
 基準日 毎年3月31日  
 その他必要ある場合は、あらかじめ公告します。

期末配当金 毎年3月31日

支払基準日

中間配当金支払基準日 毎年9月30日

株主名簿管理人

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
 電話 (0120) 232-711 (通話料無料)

公告掲載方法

電子公告  
 ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載しております。  
 当社の広告掲載URLは次のとおりであります。  
<http://www.amano.co.jp/>

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。  
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ■大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
公益財団法人天野工業技術研究所	6,071	7.92
Northern Trust Co.(AVFC) Re Silchester International Investors International Value Equity Trust	4,925	6.43
第一生命保険株式会社	4,000	5.22
株式会社みずほ銀行	3,824	4.99
日本生命保険相互会社	3,743	4.88
Northern Trust Co.(AVFC) Re U.S. Tax Exempted Pension Funds	2,912	3.80
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,793	3.64
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,560	3.34
東京海上日動火災保険株式会社	2,448	3.19
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,100	2.74

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

当社ホームページでは、会社情報、投資家情報など、さまざまな情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.amano.co.jp/>



**アマノ株式会社**

本社/〒222-8558  
 横浜市港北区大豆戸町275番地  
 TEL. (045) 401-1441 (代表)  
 FAX. (045) 439-1120

